

展開図作成のための補助スクリプト

icd-tenkaizu.py

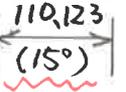
1. 円筒カバーなどの部品図を作成するのに、展開図が必要となります。
割付角度と半径より、展開長さを求める作業を軽減することを目的とするのが、本スクリプトです。

2. Xメニューの説明

ラベル	エントリ	ボタン
1. 原点 ϕ	0,0	GetPa.R
展開半径	425	
2. 基準線角度	-90	Get-std
3. 作図範囲線	600,150	Get-Y

言うまでもなく、長さ手法に角度を追加してくれます。

(長手 dim.edit) を参照



長さ手法に角度追加

展開ライン作図

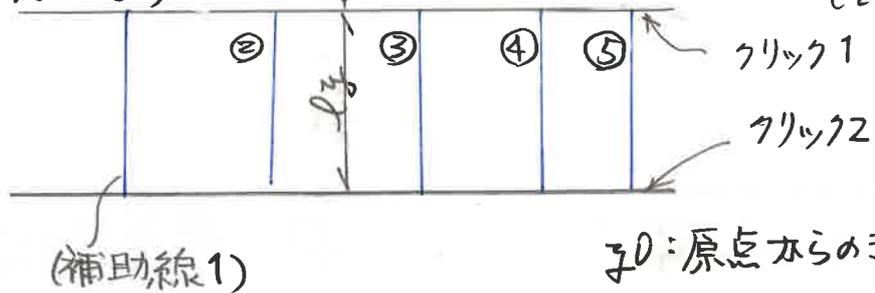
"GetPa.R" ボタンを押して円錐は円弧をクリックすると"原点座標"と"半径"が取得できます



"Get-std" ボタンを押して展開基準線をヒックすると軸を0°とする角度が取得されます。

"展開ライン作図" ボタンを押して、角度線をヒックすると補助線が作図されます

"Get-Y" ボタンを押して作図範囲線を並べて下さい。

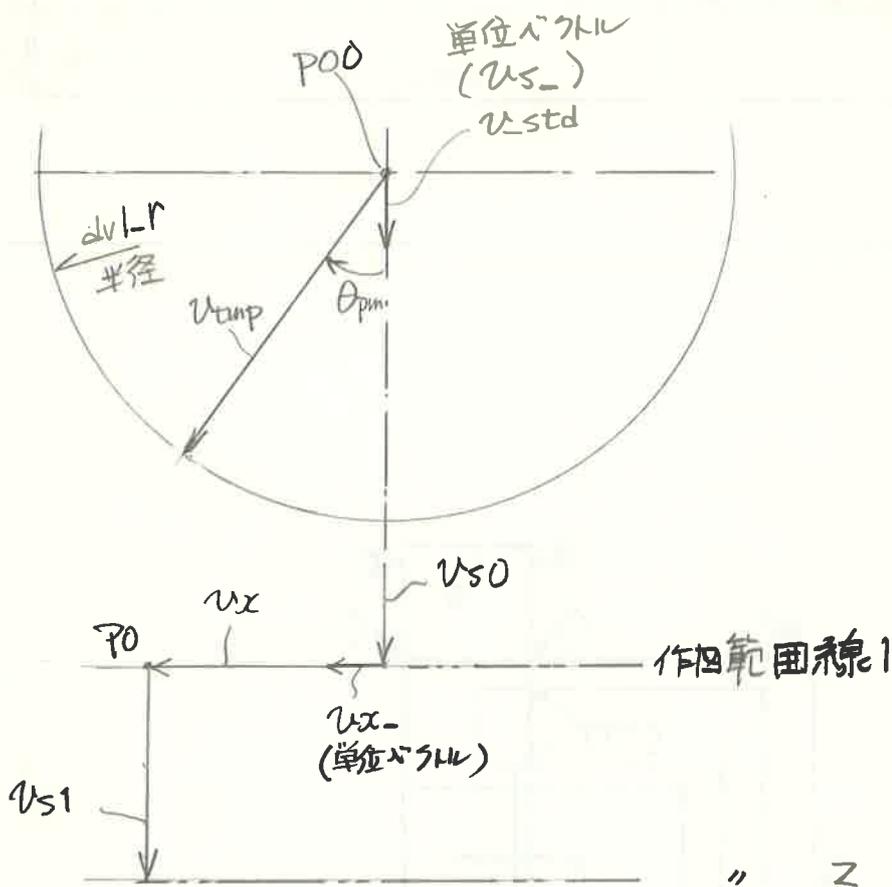


r_0 : 原点からのきょり
 r_y : 作図の中
が取得されます。

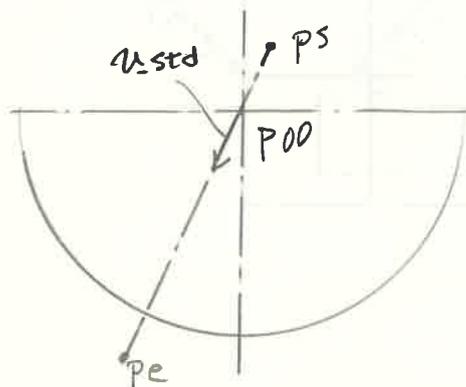
def sakuzu(seg)

K230723-2

ノックルの定義

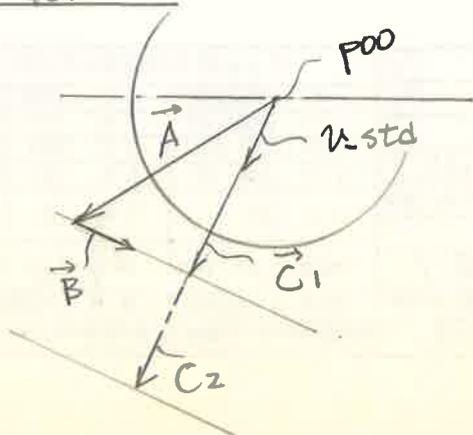


get_std 基準線取得 (L=0)



直線の始点 (P_s), 終点 (P_e) の原点より離れた方を採用して u_std を決定する.

get_y1 作図範囲



平面ベクトル Case 2 を使用.